



6月21日(日)
上士幌消防団消防演習(役場北側駐車場)



7月11日(土)
北海道クラシックカーラリー2015(ナイタイ高原牧場)



7月12日(日)
上高祭「上高プラザ」(上士幌高校)

夏のイベント特集

7月2日・8日

小学生が移住体験者と沖繩の児童と交流

7月2日、上士幌小学校の5年生49人が「わが町へスト・スリー」と題して、和歌山県から生活移住体験に来ている大石夫妻に、おすすめ観光スポットや食べ物を紹介する町自慢発表を行いました(写真左上)。

また、8日には、同じく5年生が沖縄県名護市にある屋我地小学校の5年生14人とインターネット電話「スカイプ」を使って交流を行い、地元紹介や質問コーナーを通じて、地域性の違いを学びました(写真右上)。



7月4日

たすきつないで認知症啓発〜RUN伴〜

認知症の患者や家族、支援者らがたすきをつないで全国を走るリレーイベント「RUN伴(フンとも)2015」が行われました。



役場・福寿協会・社会福祉協議会・上士幌クリニックのラン

6月22日

シルバー学級「町内視察」



シルバー学級6月例会「町内視察」が行われ、参加者64人が町内の施設見学を行いました。今回は、今年3月に完成した認定こども園「ほろん」や地域密着型特別養護老人ホーム「こまくさ苑」のほか、上士幌すらん荘、デイサービスを見学し、施設の理解を深めました。

6月30日

小学生3・4年生が町内水道施設を見学



秋ヶ岡・北門・糠平小学校の3・4年生12人が、社会科見学のため、西部浄水場を訪れました。児童たちは、取水地であるナイタイ川をはじめ、取水設備、ろ過池、浄水設備を順番に見学し、時折メモを取るなど、普段自分たちが飲んでいる水がどのように作られているかを興味深げに学んでいました。

7月6日

100歳おめでとう！



早坂久一さんが7月5日で満100歳を迎えられ、6日に入所中の特別養護老人ホーム「すらん荘」において、竹中町長から祝状が贈られました。施設の方から花束の贈呈も行われ、家族や入所者の方々と一緒に長寿のお祝いをしました。

7月9日

平成27年度平和追悼献花式



たか台公園内「平和の塔」前にて、平成27年度平和追悼献花式が行われ、竹中町長をはじめ、ご遺族の方など41人が出席しました。戦後70年となる今年、出席者は平和への誓いを新たにするとともに、異国の地で没した224柱の英霊の冥福を祈り、黙とうと献花を行いました。



上士幌ロータリークラブ 創立50周年記念

ROTARY CLUB

ロータリークラブ創立50周年

6月24日、社会奉仕活動を行う上士幌ロータリークラブ(長屋光男会長、会員13人)の創立50周年記念例会が川村組で開かれ、会員ら12人が節目を祝いました。会では、長屋会長が「先輩から引き継いだ灯りを絶やすことなく、これからも奉仕活動を続けていきたい」とあいさつ。また、記念事業として、認定こども園からくり時計を寄贈しました。

6・7月のまちのわだい

「まちのわだい」のコーナーでは、みなさんからの楽しい話題や情報をお待ちしています。企画財政課情報交流担当 ☎2-4290 または E-Mail ☎ kikakuzaiseika@town.kamishihoro.hokkaido.jp まで、お気軽にご連絡ください。

がんばれ！スポーツ少年・少女 全道・全国大会出場報告



鳥切準基さん(上高1年) 卓球男子シングルス



竹内愛詩さん(上小5年) トランポリン個人・シンクロ



五十嵐琉吉澤優人・高田才偉門・高橋史さん(上小4年男子400mリレー)、出田らいさん(上小5年女子80mハードル)、泉田真愛さん(北門小6年)6年女子砲丸投げ

町民(文)芸

川柳

家庭菜園昨日炒めて今日サラダ
ヒマワリが振り子のように揺られて夏
レントゲン僕の寿命を調べてる
笑顔舞う気合いがはいる盆踊り
生きて行くために三度のメシを食う
どのような弁当作るか悩む朝
飛行機にのって都にいきたいな
今年もねきつと逢えるさ友の友
三年過ぎふるさとのよう十勝の山
妹と盆で思い出ありし父母
震災を忘れてもはや再稼働
水を乞う願い悲しき八月忌

短歌

太平洋東シナ海を左右に見て沖繩の地を夫と巡れる
馬鈴薯の白き花咲く十勝野を疾走し行くバイク音のあり
帰り来て留守の庭にバラの花芍薬の花咲き盛り見ゆ
庭すみのいちご赤く見ゆる今朝の食卓に清すがしなり
泣きじやくりやめばいつしか眠りるしそのしどけなき顔に見入りぬ
芋の花はやほつほつと咲きるたり六月くもりのふかきいちにち

白桜 齊丹 奈高 米鈴 小小 米坂
石 藤後 大木 森木 池松 森田
花 敦昭 喜誠 博 由義 真 いさ子
馨 絵子 次子 也樹 豊子 美弓

本 高 石
間 木 川
栗 慶 裕
風 子 子



◎ 今月、町内のスポーツ少年・少女たちが、町長や教育長に全道・全国大会の出場報告を行いました(16頁参照)。
◎ 初めての全道大会で緊張気味の子や昨年のリベンジに燃えている子など人それぞれですが、各々の目標に向かってみな「頑張ります!」と力強く答えてくれました。彼・彼女らの活躍を期待しています。・・・S
◎ 先日開催されました『上高祭』、大変盛り上がり 있었습니다ね。地域の方もたくさん来場されており、とても喜ばれていた様子でした。上土幌高校の生徒さんは、猛暑の中、気温が暑くても気持ちが熱い! 上土幌高校では、さまざまな地域活動を行っていますので、みなさんぜひその取り組みに注目してみてくださいは?・・・K

がみしほろ 9月号は8月25日(火) 発行予定

地域を変えてく新しいカ 地域おこし協力隊活動報告

TITLE: こんにちは。

記: 地域支え合い推進員 小笠原 朋代



5月より「地域支えあい推進員」として、ふれあいプラザ内の地域包括支援センターで働かせていただいている小笠原朋代です。

私は、後志管内の共和町という小さな町で生まれ、札幌で育ち、大学を卒業してから東京でも数年生活をしました。仕事としては、障がいのある方の働く場や高齢者の施設で働いてきました。今回、私がこの町に来たのは、上土幌だからこそできることがあると思ったからです。都会は人も多く便利な面もありますが、「人同士のつながり」という点で、意識することが少ないなと感じていました。

上土幌町は、要介護認定率が十勝管内では最も低く、元気な高齢者が多いです。また、地域の方々とお話しさせていただく中で、みなさんの温かさや気さくさがとても良いなと感じています。私は住民同士の支え合いの仕組み、誰もが集えるような居場所づくりなどに関心があり、貢献したく思います。私自身、まだまだ力不足や至らないところもありますが、地域のみなさんにさまざまな視点からご意見やお力を貸していただきたいです。

最後になりますが、私は旅を通じて多様な価値観に触れることが好きです。ぜひみなさんのおすすめの場所や町の歴史について色々教えてください。これから、どうぞよろしくお願いいたします。



▲ウエス作り(地域交流スペース「こでまり」にて)



▲フロアカーリングを楽しむみなさん

上土幌高校新聞局 通信 月刊 上高



▲野球部を応援する生徒たち

6月27日(土)から7月2日(木)の間で、第97回全国高等学校野球選手権北北海道大会十勝地区予選が、帯広の森野球場で行われました。この大会で上土幌高校野球部キャプテンの國枝彩統さん(3-B)が選手宣誓をしました。

上土幌高校は、6月27日(土)にAブロック1回戦で本別高校と対戦しました。天候は残念なこと小雨が降る中での試合となっ

てしまいましたが、選手たちは雨にも負けず白熱した試合を見せてくれました。

上土幌高校は後攻でしたが、卒業した野球部の先輩・応援団・全校生徒の大声援もあって、2回に1点・4回に2点・次の5回に1点を加え、本別高校から4点取ることができました。一方、本別高校は、1回に1点・3回に4点・7回に2点・9回に4点を取り、合計11得点。結果、そのまま勝ち越され11対4で上土幌高校は敗れてしまいました。

試合では敗れてしまいましたが、全校応援は盛大なものになりました。

6月27日(土)
大声援を背に熱戦! 甲子園予選!

文責 坪井 稔樹

Monthly Kamishihoro High-School

平成27年 6 月末現在の 人口

男性	2,375人(-6)
女性	2,538人(-8)
人口	4,913人(-14) (外国人47人含む)
世帯数	2,393世帯(-5)

寄付

▶ 6月29日、道路工事関係3社(道路工業(株)・東光舗道(株)・富士新舗道(株))が、認定こども園に送風乾燥機能付き全自動洗濯機1台を寄贈されました。

平成27年度 ふるさと納税寄付金

6 5,283件
月分 115,001,001円

累計 16,837件
330,791,322円

※全国より本町に篤志寄付の応援をしていただき心より感謝を申し上げます。

上土幌町民憲章

- 心もからだもきたえ、すこやかな人にならましよう。
- おたがいに立場を理解しあい、楽しい家庭をつくりましよう。
- きまりを正しく守り、明るい社会をつくりましよう。
- 自然を愛し、美しく住みよいまちにそだてましよう。
- 文化をたかめ、豊かな郷土を築きましよう。